

会社	会社名	BT ジャパン株式会社		
概要	従業員数		業種	通信業

1. ねらい

英国 BT の本社の方針に従って、取り組みをしています。本社では、

- 従業員の確保また充実した就業環境の為にこの制度は不可欠とみています。
- また、この制度を可能とするためには、柔軟な人事制度（週に一度はテレワーク・半休制度の導入・毎週金曜日は午後は社内会議を入れない等々）とテレワークを可能にする ITC の技術が不可欠であると考えています。
- 日本ではこの方針に従って活動しています。

2. 施策内容

- **フレキシブルワーキング制度：**
 1. 自宅からの勤務（ワークフロムホーム）
 2. キャリア・プラン（仕事や時間を少しずつ減少させるプラン。特に退職が近い人用）
 3. 選択性勤務制度（ジョブシェア、ローカルワーキング、年間・週間勤務時間設定、フレキシブル勤務時間設定など、個々の従業員に合わせた勤務時間・場所を設定）
- 子育て支援（マタニティ・パタニティリーブ、養子縁組やその他、子供のための支援等）
- ワークフィット制度（メンタルヘルスの改善・Safe & Healthy ライフ推進）
- その他（サバティカル制度、オンライン教育制度）

こうした制度にあわせて、「ホット・デスク制」（固定の机ではなくフリーアドレスの机）を採用している。

3. 取組実績・効果

英国ではこうした制度は 15 年以上前から実施。現在約 9000 人が自宅勤務制度を利用。スタート当初は欠勤率、定着率、生産性の改善。また通勤手当や事務所費等、リクルート費用のコストダウンが見られた。現在、マタニティリーブからの復帰率はほぼ、100%。日本は、従業員の規模が少ないため多くの事例はないが、最近、マタニティリーブの活用、および復帰後のフレキシブル・ワーク制度の活用がみられる。過去には、高齢の両親の入院にあわせて帰省をするためにフレキシブル・ワーク制度を利用した例がある。